

イズミヤのごみ減量・再資源化への取組

カナート洛北店



イズミヤ株式会社の概要



社名:イズミヤ株式会社

本社所在地:大阪市

創業:1921年5月

設立:1952年4月

資本金:390億66百万円

代表者:代表取締役社長

坂田 俊博

店舗数:87店舗(2013年1
月末現在)

店舗分布



イズミヤでの廃棄物減量取組（販売）

【販売】イズミヤでは、資源の有効利用と廃棄物減量に取り組んでいます。

★トレー ⇒ 回収 ⇒ リサイクルトレー ★ノントレー

再生トレーの使用: 全トレーの中の約70%が再生トレー
(見分け方: トレーにエコマークが付いています)



塊の鶏肉はトレーなしの販売を順次進めています。



果物のばら売り

イズミヤでの廃棄物減量取組（物流）

【物流】イズミヤでは廃棄物減量の取組として、ハンガー納品や通い箱納品を行うことによりダンボールを削減しています。

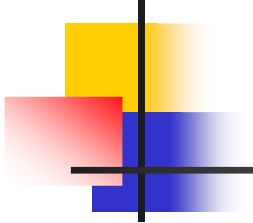


通い箱



ハンガー
納品

カナート洛北店での廃棄物減量取組

- 
- ① 2000年11月～生ごみ処理機(堆肥型)の導入
 - ② 2008年12月～廃棄物計量器導入
 - ③ 2012年10月～発泡スチロール減容機導入

カナート洛北店での一般廃棄物減量取組

1 2000年11月～生ごみ処理機(堆肥型)の導入

【目的】

◆廃棄物の削減とリサイクル(2台で500kg/1日の処理)

店舗から出される廃棄物の中で、調理くず、野菜くず、賞味期限切れ食品を分別し、生ごみ処理機に入れることにより、廃棄物の削減とリサイクルに取り組む。



H24年度1ヵ月当り
生ごみ処理機への搬入3.9t⇒1.5t(堆肥化量)

洛北店生ごみ処理機



カナート洛北店での一般廃棄物減量取組

2 2008年12月～廃棄物計量器の導入



【目的】

◆「食品リサイクル法」の改正（2007年12月）への対応

- ・廃棄物の計量を実施し、店の総排出量の把握
（部門ごと、テナント様ごとに管理して計量）
- ・食品廃棄物の量の把握（調理くず、廃棄）
- ・一般廃棄物のうちリサイクルできる紙ごみの分別
⇒焼却ごみの削減

カナート洛北店での一般廃棄物減量取組

3 2012年10月～発泡スチロール減容機導入



発泡減容機



従来

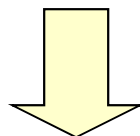


減容後

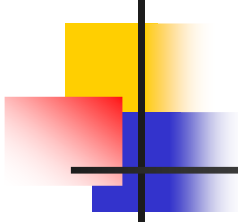
【目的】

- ◆発泡スチロールは、嵩が高いため、容積が大きい状態で運ぶ
(空気を運んでいるようなもの)
⇒物流の量を減らすための工夫として「発泡スチロールの減容機」を導入。

【従来の1/30の量となり、保管及び物流面で改善】



最終的には、カセットテープなどのプラスチック素材にリサイクルされる。



廃棄物の分別・リサイクル

可燃物置場
【生ごみ庫】

食品生ごみ、可燃ごみ等

不燃物置場
【パッキン庫】

古紙類、缶、ビン等

廃油回収場

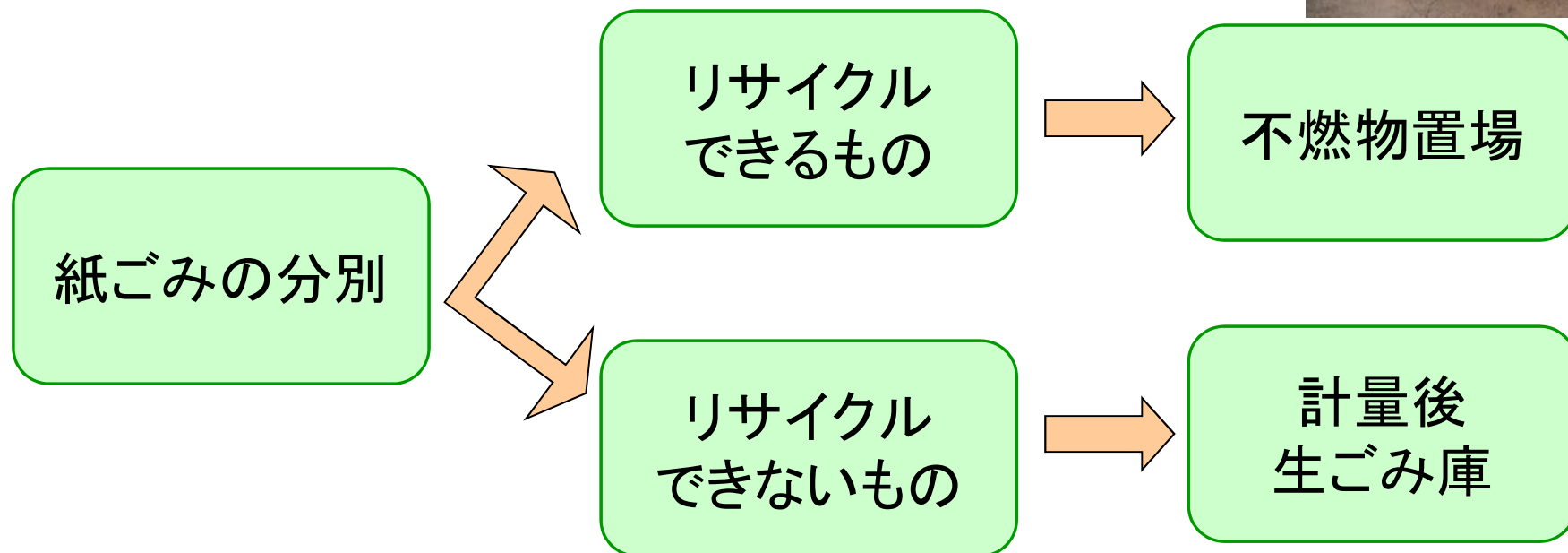
廃油、天かす

指定保管場所

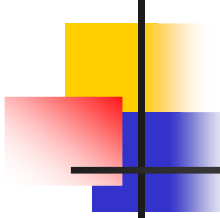
発泡、その他産廃

廃棄物の減量

【ごみ計量器導入による分別・リサイクル】



紙ごみをリサイクルすることにより焼却ごみの削減



廃棄物減量

ごみ類の計量

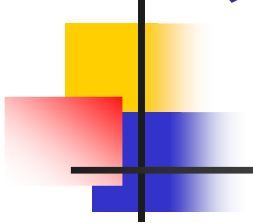
- ①可燃ごみ
- ②調理くず
- ③食品廃棄物

廃棄物減量への意識付け

部門ごと、テナント様ごとに計
量後、生ごみ庫へ
⇒一般廃棄物

計量による効果

導入前(H21年)の焼却量:35t/1ヵ月 ⇒ 導入後(H22年)29t
/1ヵ月(削減率17.1%) ⇒ H24年25t/1ヵ月(削減率 34.9%)



イズミヤ全体で計量器導入の取組

2008年3月～計量器導入現在40店舗導入

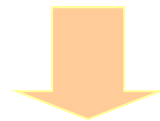
【2008年度 導入店舗】 ◇10店舗

【2009年度 導入店舗】 ◇14店舗

【2010年度 導入店舗】 ◇ 4店舗

【2011年度 導入店舗】 ◇ 4店舗

【2012年度 導入店舗】 ◇ 9店舗



【効果】約30%の一般廃棄物の削減

カナート洛北店における再資源化の取組

店頭での回収リサイクル



H23年度カナート洛北店

- ・牛乳パック : 18t ・トレイ : 6t
- ・アルミ缶 : 7t ・ペットボトル : 22.6t

H23年度イズミヤ全店



カナート洛北店における再資源化の取組

その他回収拠点としての取組(京都市への協力)



小型家電回収BOXの設置

携帯電話やデジタルカメラなどに含まれる希少金属(コバルトやパラジウム)を回収して、再利用するためのもの

カナート洛北店以外にも、白梅町店、高野店、伏見店、六地藏店に設置。

カナート洛北店における再資源化の取組

その他回収拠点としての取組（京都市への協力）



2005年5月～
ビール瓶や一升瓶など
の回収拠点として回収
BOXを設置。

カナート洛北店以外にも、伏見店、六地藏店に設置。

リユース瓶の回収BOXの設置

関西地区の古紙回収取組

店舗における古紙回収エコステーション

導入店舗：千里丘店(2010.6月)、長岡店(2010.9月)、六地蔵店(2010.10月)、昆陽店(2010.12月)、八幡店(2010.12月)、松原店(2010.10月)、河内長野店(2011.2月)、和泉府中店(2012.10月)

お客様が、イズミヤへ来店するとき、各ご家庭で不要になった新聞、雑誌をもってきていただき、1kgあたり1ポイント進呈。500ポイントたまれば500円の商品券と交換

H24年11月までに
1,905tの古紙回収



店舗後方からの廃棄物リサイクル

- ・魚箱、廃油
- ・鉄くず・廃プラ
- ・食品残渣のリサイクル



関西店舗での魚箱の運搬



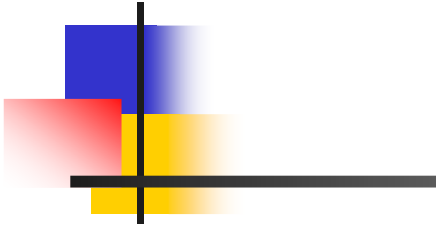
発泡減容後の運搬



生ごみ処理機(洛北店)



廃油のリサイクル



ご清聴ありがとうございました。